

芸術ナレッジ&アート導引教材				
開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
文化専門課程	美術表現科	共通授業	2025年度	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	
必修	デッサン基礎Ⅰ 共通③塑像	実習	工藤里紗	
授業の到達目標 (目標とする検定)	粘土に手で触れながら塑像をつくる体験を通して、対象物の量感や質感を理解する。			
授業の内容	期間:グループA: 5/12～5/13 AM・PM 計4コマ グループB: 5/14～5/15 AM・PM 計4コマ ※グループA/B どちらの日程になるかは、こちらで調整いたします。 頭蓋骨の模型をモチーフに、人物の頭部を構造体として捉えて粘土で制作する。 顔の正面だけではなく奥行や側面などを意識する事。 自分の手で直接粘土に「触れる」という体験を通して、対象物を視覚的に捉えるだけではなく、 対象の量感や質感を感じながら見ることを学ぶ。			
週	授業計画 及び 学習の内容			
4	グループA: 5/12AM 前提講義、制作、5/13PM 講評 グループB: 5/14AM 前提講義、制作、5/15PM 講評			
成績評価の方法				
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況				
教員の実務経験(企業や団体での実務経験)				
別紙参照				
授業持ち物		学校で準備する教材など		
・作業着 ・不要な布(不要なTシャツやタオルなどでも可) ※粘土が乾かないよう途中の作品に巻いておくため ・クロッキー帳、描画道具 ・粘土べら(持っている方は持参してください)		・頭蓋骨模型 ・粘土 ・塑像板、 ・ゴミ袋(人数分) ・粘土べら		
配付資料				

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
文化専門課程	美術表現科	共通授業	2025年度	前期

講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員
必修	デッサン基礎Ⅰ 共通④色彩構成	実習	永井俊一

授業の到達目標 (目標とする検定)	「色彩」についての基本的な知識を学ぶ。 それぞれの色が持つ特性を理解し、効果的な色面を構成する方法を学ぶ。
----------------------	--

授業の内容	期間::グループA: 5/19～5/20 AM・PM 計4コマ グループB: 5/21～5/22 AM・PM 計4コマ ※グループA/B どちらの日程になるかは、こちらで調整いたします。 1日目は、色の三属性(色相・明度・彩度)に関する講義と演習で色彩の知識を身につける。 2日目は、色彩の知識を活かして1枚の作品を制作する。
-------	--

週	授業計画 及び 学習の内容
5	グループA: 5/19～5/20AM・PM 色彩に関する講義と演習 5/20PM 講評、 グループB: 5/21～5/22AM・PM 色彩に関する講義と演習 5/22PM 講評

成績評価の方法
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
別紙参照

授業持ち物 ・スケッチブック、はさみ、カッター、のり、定規 ・筆、パレット、筆洗 ・色の画材（色鉛筆 カラーペン、クレヨン、水彩絵具 水彩筆など 持っているもので良いです） ※アクリルガッシュは学校教材としても若干用意いたしますが、 今後使用する方は個人購入をお勧めします ・画用紙を水張りする ※授業内で水張りを指導します	学校で準備する教材など ・木炭紙大パネル(人数分) ・アクリルガッシュ、筆 ・トータルカラー、課題用紙、 ・カッターマット ・モニター ・水張りテープと道具一式 ※色彩ワークショップ用の画材 (スポンジ、色紙など) 他、別途指定します
配付資料	

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
文化専門課程	美術表現科	共通授業	2025年度	前期

講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員
必修	デッサン基礎Ⅰ 共通⑤静物着彩	実習	清水健太郎

授業の到達目標 (目標とする検定)	4月の各コースでの課題や先週までの共通授業で学んだ経験を活かし、描く力と共に独自の視点や画面構成、色彩的発想力など基本的な造形力をさらに高める。
----------------------	--

授業の内容	期間:グループA: 5/19～5/20 AM・PM 計4コマ グループB: 5/21～5/22 AM・PM 計4コマ ※グループA/B どちらの日程になるかは、こちらで調整いたします。 大型の組みモチーフを対象に、独自の視点を基にした取材を行い、柔軟な構成や色彩的展開を試みた着彩作品を制作する。 ①エスキース 大型モチーフを様々な視点による観察・取材を行い、「奥行」「明暗」「質感」「面と線」などを意識した画面構成をクロッキーやエスキースを通して模索する。この際にモチーフの固有色のみにとらわれずに自由な発想による色彩効果や描画材の扱いなどを積極的に試みる。 ②着彩作品の制作 エスキースを基に、より豊かな絵画空間を目指して着彩作品を完成させる。
-------	---

週	授業計画 及び 学習の内容
5	グループA: 5/19AM 前提講義～エスキース～制作、5/20PM 講評 グループB: 5/21AM 前提講義～エスキース～制作、5/22PM 講評

成績評価の方法
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
別紙参照

授業持ち物	学校で準備する教材など
・鉛筆デッサン用具一式 ・色の画材（水彩絵具用具、アクリル絵具用具、カラーコンテ(コンテクレヨン等)、色鉛筆 クレヨン カラーペンなど持っているもので良いです)※油彩も可 ・画用紙(授業内で説明します)	・モチーフ ・木炭紙大の画板 ・透明水彩・不透明絵の具など (デモンストレーション用)

配付資料

渋谷ファッション＆アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
文化専門課程	美術表現科	絵画コース	2025年度	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	
必修	デッサン基礎Ⅱ 絵画Ⅰ-1油彩導入①	実習	阿部達也	
授業の到達目標 (目標とする検定)	油彩画材についての基本的な知識と制作手順を学ぶ。 題材の選び方から構図の重要性を理解する。			
授業の内容	期間:4/14～4/24 AM/PM 計16コマ 画材についての基本的な知識を身につけると共に、絵具の持つ表情の豊かさを探ります。 今後油絵を描いていく上での基本的な知識を得て、油絵を描いていく上での手順を学びます。 静物画課題の取り組み方を理解し、構図、下書き、着彩、それぞれの手順や留意点を学びます。 ・絵具の構造や特性について ・画材の準備や扱い方について ・支持体について(キャンバスの張り方) ・絵具による混色とマチエールの多様性 以上を講義と実習を通して学びます。 ・制作の準備及び基本的な制作手順の解説 ・パレットへの色置き、混色 ・明暗と色彩の関係 ・構図の考え方 ・画布への表現の多様性 ・質感表現 以上を講義と実習を通して学びます。			
週	授業計画 及び 学習の内容			
1	4/14 前提講義 エスキース制作 この間にキャンバス張り実施			
2	制作 4/24講評			
成績評価の方法				
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況				
教員の実務経験(企業や団体での実務経験)				
別紙参照				
授業持ち物 (初日に必要なもの) ・クロッキー帳(エスキース用) 鉛筆 ねりゴム ・彩色できる画材 (色でエスキースをするため 色鉛筆 水彩絵具 水彩筆など 持っているもので良いです) (授業が始まってから必要なもの) ・油彩用具一式 (授業の中で必要な画材の説明をします 持っていない方は説明を聞いてから購入してください) ・F10号木枠 ・F10号画布※学校で用意します(有料) ※キャンバスを張る実習を行います		学校で準備する教材など デモ用の用具 キャンバス張り器 金づち ペンチ ・木枠・カットキャンバス(F10号)人数分 ・キャンバス用釘・無地布+柄布 ・幾何石膏 ・その他、質感と色の異なるモチーフを数点 (ガラス器、瓶、ホーローなど)		
配付資料				

渋谷ファッション＆アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
文化専門課程	美術表現科	絵画コース	2025年度	前期

講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員
必修	デッサン基礎Ⅱ 絵画Ⅰ-2油彩導入②	実習	清水健太郎

授業の到達目標 (目標とする検定)	油彩画材についての制作手順を学ぶ。 構図の重要性を理解し、一枚の作品として仕上げる。
----------------------	---

授業の内容	期間:5/26～6/5 AM/PM 計16コマ 画材についての基本的な知識を身につけると共に、絵具の持つ表情の豊かさを探ります。 前回描いた静物画課題の取り組み方を思い出し、構図、下書き、着色、それぞれの手順の留意点を再確認しながら下記進めましょう。 画面も少し大きくなりますので、より深い観察力や描写力が必要になります。 様々なモチーフを繰り返し描く事を経験し、絵画に対する知識や技術が深まります。
-------	---

週	授業計画 及び 学習の内容
6	5/26前提講義 エスキース制作
7	制作 6/5講評

成績評価の方法
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
別紙参照

授業持ち物 (初日に必要なもの) ・クロッキー帳(エスキース用) 鉛筆 ねりゴム ・彩色できる画材 (色でエスキースをするため 色鉛筆 水彩絵具 水彩筆など 持っているもので良いです) (授業が始まってから必要なもの) ・油彩用具一式 - キャンバス F15号	学校で準備する教材など 静物用モチーフ ・無地布＋柄布 ・幾何石膏 ・その他、質感と色の異なるモチーフを数点(ガラス器、瓶、ホーローなど)
--	---

配付資料

渋谷ファッション＆アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
文化専門課程	美術表現科	絵画コース	2025年度	前期

講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員
必修	表現演習基礎 絵画 I -3風景画	実習	阿部達也

授業の到達目標 (目標とする検定)	日常空間に潜む造形性を見つけ出す視点を養うと共に、目の前に広がる空間を絵画の空間として魅力的に発展させる表現力を養う。
----------------------	---

授業の内容	期間:6/9～6/26 AM/PM 24コマ 校内の空間から任意の場所を選んで風景画を制作する。 基本的な遠近法や画面構成に注意して奥行きのある空間を表現する。 ・パースペクティブ(透視図法)の理解 ・奥行きや前後関係の表現 ・光と影による造形的展開 ・空間のトリミングや構図、要素の構成について 以上を講義と実習をとおして学びます。 (基本的には校内風景だが、近隣の風景を取材しモチーフとするの也可)
-------	---

週	授業計画 及び 学習の内容
8	6/9前提講義 ～エスキース～制作
9	制作
10	制作 6/26講評

成績評価の方法
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
別紙参照

授業持ち物 ・クロッキー帳(エスキース用)・鉛筆デッサン用具一式 ・油彩用具一式 ・10～15号キャンバス	学校で準備する教材など
配付資料	

渋谷ファッション＆アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
文化専門課程	美術表現科	絵画コース	2025年度	前期

講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員
必修	美術表現基礎Ⅰ 絵画Ⅰ-4動物・植物(静物着彩)	実習	永井俊一

授業の到達目標 (目標とする検定)	動物(鳥などを含む)の骨格や構造を理解し、画面を空間的に構成する。 人体を描く場合と、動物を描く場合の画面全体の組み立て方の違いを学ぶ。
----------------------	---

授業の内容	期間:6/30～7/17 AM/PM 計24コマ 動物剥製は静物のモチーフとしてとても魅力あるものです。制作にあたっては下記の工程で行います ①スケッチ・デッサン この課題では、まずメインとなる動物を良く観察してスケッチやデッサンを行い、体の構造や質感を理解します。 ②エスキース その後静物モチーフのなかからどこを見せ場にするかを検討するエスキースを複数制作します。 ③本制作 検討修正されたエスキースを基に、動物の自然なプロポーションや質感が表現できるか、物と物との関わり合いが観察・表現できているかを自身に問いながら1枚のタブローに仕上げます。 ※10月の学園祭で展示する候補作品とします
-------	---

週	授業計画 及び 学習の内容
11	6/30前提講義 ～7/1、2スケッチ、デッサン、エスキース 7/3制作
12	制作
13	制作 7/17講評

成績評価の方法
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
別紙参照

授業持ち物 クロッキー帳、デッサン用具一式、 油彩用具一式 キャンバス(F15～20号)	学校で準備する教材など ・モチーフ(剥製含む)
配付資料	

渋谷ファッション＆アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
文化専門課程	美術表現科	絵画コース	2025年度	前期

講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員
必修	美術表現基礎Ⅰ 絵画Ⅰ-5素材と技法研究(自画像)	実習	永井俊一

授業の到達目標 (目標とする検定)	様々な名画を鑑賞してその素材や技法を調査・研究する。 絵画制作に用いる素材である絵具や支持体などの基本的特性や扱い方を理解する。
----------------------	---

授業の内容	期間:9/8～9/18 AM/PM 14コマ 自画像を通して、絵具(油性・水性)や支持体、その他の素材などを複合的に用いた絵画作品(10～15号)を制作する。 【自画像について】 生涯において何枚もの自画像を描いている作家がいるように、自分の顔はもっとも身近なモチーフです。鏡の中の自分の顔は毎日変わらないように思えますが、その日その時の心情を映し出しているものです。その時期にしか描けない自分と向き合い改めて良く観察して制作しましょう。 【素材について】 絵画に用いる絵具には、油性和水性がありそれぞれ描画特性や扱い方が異なります。これまでの授業で扱った油性画材と異なり、水性系であるアクリル画材は多様なメディウムがあり、短時間で容易に豊かなテクスチャーを作ることができます。そして、適切な用法により油性・水性画材を複合的に扱う事もできます。また、絵画の土台となる支持体についても自身の求める表現性によって、キャンバスと木製パネルなどを選択する必要があります。このように多様な素材を積極的に扱うことでその特性や技法を知り、表現の可能性を広げてみましょう。 ※10月の学園祭で展示する候補作品とします
-------	---

週	授業計画 及び 学習の内容
14	9/8前提講義 エスキース～制作
15	制作 9/18講評
16	制作研究期間 9/23休講、9/24～25 AMPM自由選択授業・美術館作品鑑賞（出席を取ります）

成績評価の方法
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
別紙参照

授業持ち物 ・クロッキー帳 ・10～15号キャンバス又は木製パネル ・油彩・アクリル用具一式 ・その他の素材 ※画材や素材については、授業での説明を聞いた後に揃えてもよい	学校で準備する教材など ・鏡(人数分) ・デモ用(アクリル系メディウム各種)
配付資料	

渋谷ファッション＆アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
文化専門課程	美術表現科	絵画コース	2025年度	後期

講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員
必修	美術表現基礎Ⅱ 絵画Ⅰ-7取材からの制作	実習	大家泰仁

授業の到達目標 (目標とする検定)	作品制作を行うにあたり、自らが興味の対象(モチーフ)を探し、独自の視点で観察・取材を進めることで、対象やその周辺に潜む「眼に見える以上」の要素を掴み、豊かで実感のある表現へと繋げる。
----------------------	---

授業の内容	期間:11/4～11/20 AM/PM 計22コマ 日常生活の片隅に潜む造形的に魅力のある物や場所に目を向け、観察や取材を通して絵画作品(20号)を制作する。 【取材】 身の回りの生活空間や学校内、自宅から学校までの通学路などにあらためて注目し、気になる物や絵にすると面白そうな場所の一部分など柔軟な視点により対象を見つけ出し、積極的にクロッキーを通して取材を進めてみましょう。 【エスキース・作品制作】 取材を通して発見した対象を、絵画として魅力あるものにするために、画面構成や構図、色彩や素材などの在り方を積極的にドローイングやエスキースを重ねることで模索し、造形性と実感が備わる絵画作品を制作する。 ※制作の一連の流れを通して修了制作へ向かうステップにします。
-------	---

週	授業計画 及び 学習の内容
22	11/4前提講義 エスキース～制作
23	制作
24	制作 11/20講評

成績評価の方法
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
別紙参照

授業持ち物	学校で準備する教材など
クロッキー帳、デッサン用具一式、 油彩用具一式 キャンバス(F20号)	・エスキース用紙

配付資料

渋谷ファッション＆アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
文化専門課程	美術表現科	絵画コース	2025年度	後期

講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員
必修	美術表現基礎Ⅲ 絵画Ⅰ-6人物と空間	実習	佐藤功

授業の到達目標 (目標とする検定)	人体の構造を理解した上で、その表面にまつた服地の素材感や人物を取り巻く環境との関わりを総合的に描写する事を目標とする。
----------------------	---

授業の内容	期間:9/29～10/16 AM/PM 計22コマ ・人体デッサン(着衣)から構図を考えて、画面を構成する ・人体と衣服の関係性をしっかり把握することが大切です。人体デッサンの課題で学んだポイントを下地にして取り組んでください。 ・人物とその周りの空間を含めた前後関係や奥行を意識した画面構成となるように、エスキースに充分時間をかけて作品の構想を練ること。 ・油彩画の良い点は思い切った変更が可能ということ。制作を進めながら必要に応じて引き返す勇気を持つてほしい。 ※制作の一連の流れを通して修了制作へ向かうステップにします。 ※10月の学園祭で展示する候補作品とします ※【モデル授業の注意事項(学校より)】 ポーズの始まりと終わりには挨拶をしましょう。原則としてモデルさんには話しかけないこと。写真撮影は禁止です。携帯・スマートフォンはカバンの中にしまっておきましょう。 室温はモデルさんを基準に設定します。
-------	---

週	授業計画 及び 学習の内容
17	9/29前提講義 制作
18	制作
19	制作 10/16講評
20	学園祭準備期間 (出席を取ります)
	学園祭
21	学園祭撤収および制作研究期間 (出席を取ります)

成績評価の方法
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
別紙参照

授業持ち物	学校で準備する教材など
クロッキー帳、デッサン用具一式、 油彩用具一式 キャンバス(F20号)	・モデル(着衣指示) ・背景や小物
配付資料	

渋谷ファッション＆アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
文化専門課程	美術表現科	絵画コース	2025年度	後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	
必修	美術表現演習 絵画 I -8絵画制作研究(スケッチブック)	実習	永井俊一	
授業の到達目標 (目標とする検定)	修了制作の準備としてこれから制作する作品のテーマを探る。 様々な表現技法を試し制作の幅を広げる。			
授業の内容	期間:11/25～12/4 AM/PM 計14コマ 今回の課題では、年度末にかけて制作する修了制作に向けて作品のテーマや技法の試作をまとめた1冊のスケッチブックを制作します。 課題の中では取材～エスキース～作品制作というプロセスを想定した作業を行います、 絵の描き方に「こうでなければならない」というルールはありません。 体験した技法を基に自分なりの表現を織り交ぜながら自らが描く作品のテーマについて向き合い、描きたい絵の方向を見つけていきます。 ※制作の一連の流れを通して修了制作へ向かうステップにします。			
週	授業計画 及び 学習の内容			
25	11/25前提講義 ～取材・素材収集など			
26	スケッチブックの編集 12/4発表会			
成績評価の方法				
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況				
教員の実務経験(企業や団体での実務経験)				
別紙参照				
授業持ち物		学校で準備する教材など		
・クロッキー帳、デッサン用具一式、 ・色の画材（色鉛筆 水彩絵具 水彩筆など） ・スケッチブック編集用の道具(はさみ、カッター・のり、定規など) ※スケッチブックのサイズなど、支持体については授業内で説明します		・モチーフ ・デモンストレーション用画材		
配付資料				

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
文化専門課程	美術表現科	絵画コース	2025年度	後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	
必修	美術表現基礎終了制作 絵画Ⅰ-9修了制作	実習	永井俊一 大家泰仁 浅野純人 佐藤功	
授業の到達目標 (目標とする検定)	1年間の学びの集大成として、外部に発表し鑑賞されることを目的とした作品を制作する。			
授業の内容	期間:12/8～2/5AM/PM 計46コマ この一年間の学習の集大成となる作品を制作し修了制作展に出品する。 現時点での各人の制作スキルを活かし、制作テーマを考え集中的に作品を制作する機会が修了制作です。 各人の制作の構想、エスキースを元に先生方と相談しながら進行していきます。 ※作品タイトルや展示の計画も制作と同時に進めます。 ※作品のテーマは自由ですが、以下から選択することも可能です。 ・静物 ・風景(室内も含む) ・人物			
週	授業計画 及び 学習の内容			
27	12/8前提講義・導入 ～エスキース			
28	制作			
	冬季休業			
29	1/13計画書提出 制作			
30	制作 中間講評(日程は別途お知らせします)			
31	制作			
32	制作			
	修了制作展で講評を行います			
成績評価の方法				
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況				
教員の実務経験(企業や団体での実務経験)				
別紙参照				
授業持ち物		学校で準備する教材など		
クロッキー帳(エスキース用)、デッサン用具一式 油彩用具一式 キャンバス(30号相当)		・修了制作計画表用紙 (作品名・展示計画含む)		
配付資料				

永井俊一

経歴

1966 東京都生まれ

1991 東京藝術大学美術学部デザイン科卒業

1996-2018 株式会社オリエンタルランドに勤務 商品デザイン制作・商品アート制作に従事

2015-2018 東京都美術館×東京藝術大学「とびらプロジェクト」に参加

2019 専修学校教員教職課程研修修了

現在 本校文化専門課程専任教員

木村繁之

経歴

1957 愛媛県生まれ

1983 多摩美術大学大学院修了

1985-86 文化庁芸術家在外研修員としてイギリス・ロンドンで制作

1985 日本版画三十位展 中華民国-台北

1991 アクリラート展 目黒区美術館

1996 畦地梅太郎記念美術館 愛媛県

1998 現代日本版画展 ティコティン日本美術館 ハイファ イスラエル

1999 メディテーション 真昼の瞑想（90年代の日本の美術）栃木県立美術館

2005 現代版画の潮流展 町田国際版画美術館、松本市美術館

2006 DOMANI 明日を担う美術家たち 損保ジャパン東郷青児美術館 東京

2008 半島・日本版画招待展 中華人民共和国 上海

2010 イノセンス いのちに向きあうアート 栃木県立美術館

2019 詩をかたどる 詩を刻む-祈りの庭へ 高崎市美術館

2023 木村繁之展 星と森の詩美術館 新潟

横浜美術館、町田国際版画美術館、愛媛県美術館にて版画講座

ロイヤル・カレッジ・オブ・アート、イーストロンドン大学(イギリス、ロンドン)にて講演及び制作実演を行う

ギャラリー椿（東京）、ギャラリーたむら（広島）を中心に個展を開催

多摩美術大学、武蔵野美術大学、東京造形大学、明星大学にて講師を務める

装丁装画100冊、

新聞挿絵、絵本などを手がける

武井好之

経歴

1956 神奈川県平塚市に生まれる

1981 東京芸術大学美術学部絵画科日本画専攻卒業

1983 東京芸術大学大学院美術研究科日本画専攻修了
(修了模写台東区買い上げ)院展初入選(2009まで出品)

1988 有芽の会 法務大臣賞受賞〔法務省買い上げ〕

2007 「更正保護」法務省保護局 表紙製作(2007～2008)

2014 「鴨長明」連載小説挿絵制作(作 島内景二、電気新聞)

作品収蔵

外務省 法務省 康耀堂美術館 成川美術館松岡美術館 更生保護施設がじゅまる沖縄

工藤里紗

経歴

1980 東京都生まれ

2005 武蔵野美術大学造形学部彫刻学科卒業

2011 東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程修了

主な個展、グループ展

2005～09、2015 アトリエの末裔あるいは未来展(旧平櫛田中邸)

2010 彫刻三人展(土屋現代画廊)

2012 個展(ギャラリーモーツァルト)

2014 「木の系譜ー進化する奔流ー」(高島屋 東京日本橋／大阪／横浜)

2015 グループ展(ポスターハリスギャラリー)

2017 グループ展「Current Traditions: Contemporary Japanese Wood Sculpture」(SU Art Galleries)

2019 個展(Gallery gigi)

2020、2022 グループ展(Gallery gigi)

2023 個展(LIGHTHOUSE GALLERY)

2019 詩集『植物考』表紙(仲田有里著・思潮社)

2022 詩集『持ち重り』表紙(鎌田尚美著・思潮社)

清水健太郎

経歴

1972 東京都生まれ

1995 工学院大学 電子工学科卒業

1999 武蔵野美術学園 油絵科卒業

2001～2005 武蔵野美術大学 助手(通信教育課程研究室)

2006～2009 武蔵野美術大学 文科省選定現代GP「造形ファイル」開発室 主任

現在 二紀会 会員

日本美術家連盟 会員

渋谷ファッション&アート専門学校 専任教員

武蔵野美術大学 講師(通信教育課程油絵学科)

主な個展

2006 ギャラリーヴェルジェ(相模原)

2010 ギャラリー吉豊(銀座)

アートフォーラム千(福岡)

2012 ギャラリー檜(銀座)

2013 SAN-AI GALLERY(日本橋)

2014 コートギャラリー国立(国立)

2015 FEI ART MUSEUM YOKOHAMA(横浜)

2016 リベストギャラリー創(吉祥寺)

2017 光画廊(銀座)

2018 東京都美術館<東京二紀展 特別展示>(上野)

THE ARTCOMPLEX CENTER OF TOKYO(新宿) F.E.I Art Gallery(横浜)

2021 SAN-AI GALLERY(日本橋) 光画廊(銀座) F.E.I Art Gallery(横浜)

2022 ギャラリーあづま(銀座)

2023 コートギャラリー国立(国立)

2024 ギャラリーあづま(銀座)

2025 SAN-AI GALLERY(日本橋)12月予定

主なグループ展

1999～ 二紀展(以後毎年出品 03,奨励賞 07,同人推挙 11,同人賞 16,準会員賞 17,会員推挙 23,会員賞)

2004 多摩秀作美術展(青梅市立美術館)、伊豆美術大賞展(伊東市観光会館)

2007・2018 前田寛治大賞展(日本橋高島屋・倉吉博物館)

2019 第1回二紀会選抜台湾展(台湾・台北 国立臺灣藝術大学)

2017・2021・2022 「われらの地平線」展(日本橋三越)

その他グループ展多数

●作家HP <https://shimiken1008.wixsite.com/kentaro-shimizu>

●インスタグラム <https://www.instagram.com/shimiken1008/>

阿部達也

経歴

1974 東京都青梅市生まれ

1999 武蔵野美術大学造形学部油絵学科卒業

2004 二紀展初出品

現在 二紀会会員

主な個展

2021 東京二紀展「10人の選抜作家」(東京都美術館)

主なグループ展

2016 「2月の出会い展」(銀座アートホール)

2019 「第8回 われらの地平線」(日本橋三越本店)

2020 「BEYOND—4人の現在とその先—」(ギャラリー絵夢)

2021 「第9回 われらの地平線」(日本橋三越本店)

2022 「BEYOND—4人の現在とその先—」(ギャラリー絵夢)

2024 「ノスタルジア—記憶の中の景色」(東京都美術館)

「BEYOND—3人の現在とその先—」 (ギャラリー絵夢)

・ インスタグラム [instagram @tatsuya._.abe](#)

大家泰仁

経歴

1965 大阪府出身

1993 武蔵野美術大学造形学部油絵学科卒業

個展

1998 かねこアートギャラリーにて個展(京橋)

1999 小野画廊ギャラリーB1にて個展(京橋)

2010 なびす画廊にて個展(銀座)

2011 なびす画廊にて個展(銀座)

2012 なびす画廊にて個展(銀座)

2012 調布画廊にて個展(調布市)

2014 なびす画廊にて個展(銀座)

2015 なびす画廊にて個展(銀座)

2018,9 画廊楽にて個展(横浜)

2020 藍画廊にて個展(銀座)

2021 表参道画廊にて個展(渋谷区神宮前)

2022 ギャラリーあずまにて個展(銀座)

2023 ギャラリー檜にて個展(京橋)

2024 いりや画廊にて個展(上野)

グループ展

1998,1999 多摩うるおい美術展に出品(パルテノン多摩)

1999 昭和シェル現代美術展に出品(目黒区美術館)

2013 武蔵野美術大学通信教育課程 絵画コース教員作品展(小平市鷹の台校 G-FAL)

2015～12 宮本三郎記念デッサン大賞展に出品(小松市立宮本三郎美術館 石川県)
(世田谷美術館分館 宮本三郎記念美術館 世田谷区)

2016 「二月のおくりもの」大家泰仁、小野寺潮 二人展(なびす画廊、銀座)

2016 「ドローイングとは何か」第6回全国公募入賞・入選作品展 (ギャラリー志門、銀座)

2019 アートハウスおやべ現代造形展 (アートハウスおやべ 富山県)

2021 WALK THE LINE 6 線に生きる作家たち 後期(ギャラリー志門、銀座)

2022 WALK THE LINE 7 線に生きる作家たち(ギャラリー志門 銀座)

佐藤功

経歴

1972 岩手県生まれ

1999 武蔵野美術学園 夜間油絵科卒業

主な個展、グループ展

2001 第75回国展(以後毎年 /'07'19を除く)

2004 昭和会展招待出品(日動画廊)

2006 個展「レスポワール展」(銀座スルガ台画廊)

2007 多摩秀作美術展出品(賞候補)

2008 第82回国展 新人賞 準会員推挙

2009 リアリズムの世界展(飯田美術/以後毎年)

2010 佐々木豊と4人展(飯田美術/以後毎年)新・リアリズム宣言展(新生堂/'13 '15)個展(銀座スルガ台画廊)

2011 美は細部に宿る展(日本橋高島屋)

2012 三越美術特選会(日本橋三越本店)

2014 第88回国展 会員推挙 三越美術逸品会(ホテルニューオータニ)

2018 SINCE展(大阪高島屋/'20 '22) 神戸アートマルシェ(神戸メリケンパークオリエンタルホテル/川田画廊)

2019 個展(飯田美術)

2021 個展(日本橋三越本店)

2023 リアリズム展一継承(日本橋三越本店)

2024 個展(北岡技芳堂)

◆ホームページ <https://isaosato.net/>

◆エックス x.com/Sato_Isao_

◆インスタグラム [instagram.com/sato_isao_55555](https://www.instagram.com/sato_isao_55555)

◆フェイスブック [facebook.com/profile.php?id=100009160388095](https://www.facebook.com/profile.php?id=100009160388095)

浅野純人

経歴

1979 福岡生まれ

2003 多摩美術大学美術学部絵画学科油画専攻卒業

2005 東京藝術大学大学院美術研究科壁画専攻修了

個展

2004 ギャラリー58(銀座 08年,10年)

2006 フタバ画廊(銀座)

2011 ギャラリーとわーる(福岡)

2024 コンフリ(取手)

職歴

2005～2019 埼玉県の高등학교、中高一貫教育校で美術科の非常勤講師

2006～ あーと屋図工室 デッサン、水彩、こども教室主宰

2016～ 開智望小学校 放課後アート教室主宰

2015～ 本校非常勤講師

2019 東京コミュニケーションアート専門学校 非常勤講師

2020～ 取手市立小学校放課後児童クラブ アーティスト派遣事業 コーディネーター

2024～ 取手市立小学校学校運営協議会委員

2025～ コミュニティースクールコーディネーター